

沖繩IT津梁^{しんりょう}パーク整備事業

(資料2)

高度ソフトウェア開発等の新しい情報通信産業の拠点となり、かつ、アジアとの津梁機能及び高度な人材育成の機能等を備えるIT津梁パークの中核施設を整備する。

基本理念	<p>沖縄県における情報通信産業の振興 我が国における情報通信産業活性化と国際競争力向上への寄与 沖縄県における雇用創出の先導</p>
コンセプト	<p>我が国における新しいIT産業 我が国とアジアを結ぶIT津梁(ブリッジ)の役割 我が国のIT産業のテストベッドを提供する 我が国に必要な高度なIT人材の創出と集積を担う 我が国のモデルとなる優れたリゾート&IT就業環境を提供</p>



IT津梁パークの構成

■ 中核施設 2棟

- ・IT津梁パークのフラッグシップ施設
- ・IT津梁パーク全体の管理・運営

国の支援を受け県が整備(平成20~21年度)

■ 民間施設 13棟

- ・沖縄に不足する高質のIT業務オフィス空間の提供
- ・民間企業の集積と相乗効果

民間の資金・ノウハウを活かし公募により整備

沖縄IT津梁パーク全景



中核施設(丸囲み部分)と周辺に広がる民間施設
(中核施設:総床面積 7,500㎡ 民間施設:総床面積 62,500㎡)
(基本計画による)

中核施設B棟(平成20~21年度建設予定)



主として賃貸オフィス



中核施設A棟(平成21年5月完成)

主として管理施設

事業主体: 沖縄県

事業年度: 平成20年度~21年度

平成20年度当初予算額: 794百万円(補助率2/3) 平成20年度2次補正予算額: 533百万円(補助率2/3)

平成21年度予算額: 800百万円(補助率2/3)

主な経緯

1. 背景

沖縄IT産業は、企業数、雇用者数等の指標において成長しているが、コールセンター等の比較的付加価値の低い業態が多い。 → 産業の高度化が求められている。

2. 経緯

沖縄IT産業の高度化のため、歴代の内閣府政務官が主宰する研究会等を開催し、IT津梁パーク構想を提唱。

平成18年4月～平成18年6月 「新・沖縄情報通信産業振興のための研究会」平井たくや政務官主宰

沖縄が目指すべき新たな情報通産業のビジネスモデルに関する提案をとりまとめ。「IT津梁パーク」も提言。

平成18年11月～平成19年3月 「新・沖縄情報通信産業振興検討会」谷本龍哉政務官出席

平井研究会で得られた提案のうち、熟度の高いものについて詳細を検討。IT津梁パーク構想の事例研究も実施。

平成19年4月～平成20年3月 事業調査、基本計画策定

- ① 沖縄IT津梁パーク構想事業調査(検討会) IT津梁パークのコンセプトの具体化と整備候補地の検討。谷本政務官出席
- ② 沖縄IT津梁パーク整備基本計画策定業務 IT津梁パークの整備のための基本計画の策定。

平成19年11月 仲井眞知事が、うるま市中城湾港新港地区を整備箇所に決定

3. 整備計画

		H20年度	H21年度	H22年度以降
中核施設	A棟	設計 ■起工式(H20.10月)	■開所式(H21.6月) 工事	供用開始
	B棟		設計 工事	供用開始
民間施設等		入居希望者等との調整、設計(随時)		工事(随時)

別図 沖縄IT津梁パーク中核機能支援施設A棟 事業用専用区画

階	No.	部屋番号	面積(㎡)	入居企業名
1階部分	1	102	158.76	該当なし
	2	107	41.01	NPO法人フロム沖縄推進機構
	3	108	56.70	
	4	109	58.59	沖縄クロス・ヘッド(株)
2階部分	5	201	50.78	(株)レキサス
	6	202	79.38	
	7	203	79.38	
	8	204	79.38	
	9	205	79.38	(株)沖縄ソフトウェアセンター
	10	206	79.38	
	11	207	79.38	
	12	208	79.38	
	13	209	79.38	
	14	休憩室①	37.97	該当なし
	15	休憩室②	37.97	該当なし
	16	サーバールーム	21.05	(株)沖縄ソフトウェアセンター

※部屋番号101は管理事務所。
 ※部屋番号103はプレゼンテーションルーム。
 ※部屋番号104～106は会議室。

